

### 基本構想（概案）

#### ○ 記載項目（目次）

- ・ 第1章 策定の趣旨
- ・ 第2章 目標年次
- ・ 第3章 時代潮流の変化や宇都宮市の現状から導き出される課題
- ・ 第4章 まちづくりの目標
- ・ 第5章 まちづくりの基本方向
- ・ 第6章 将来のうつのみや像の実現に向けて

#### ○ 記載内容

##### 第1章 策定の趣旨

基本構想は、宇都宮市の都市経営の最上位の方針となるものであり、市民・事業者・行政などの構成員が一体となってまちづくりに取り組むため、その基本的な考え方や目指す将来の姿を示すもので、宇都宮市自治基本条例に基づき策定するものです。

宇都宮は、明治29年4月1日に市制を施行し、平成28年に市制施行120周年を迎えました。

この基本構想では、宇都宮が、これまで長い歴史のなかで培ったまちづくりの成果を生かしつつ、首都圏における主要都市の1つとして、広域的な圏域における存在感や中枢性をさらに高めるとともに、みんなが夢と希望にあふれ、幸せに暮らせる都市として今後も持続的に発展していけるよう、都市の構成員が共有し、ともにめざす「将来のうつのみや像」及び都市空間形成のありようを明らかにし、そのために必要なまちづくりの基本方向を定めます。

##### 第2章 目標年次

この基本構想は、2050（平成62）年を目標年次とします。

### 第3章 時代潮流の変化や宇都宮市の現状から導き出される課題

#### 1 時代潮流の変化や宇都宮市の現状

##### (1) 時代潮流の変化と見通し等

ア 少子高齢化・人口減少の進行

イ 自然災害等の不安の増大

ウ 環境・資源エネルギー問題

エ グローバル化の進展

オ 価値観や行動様式の多様化

など

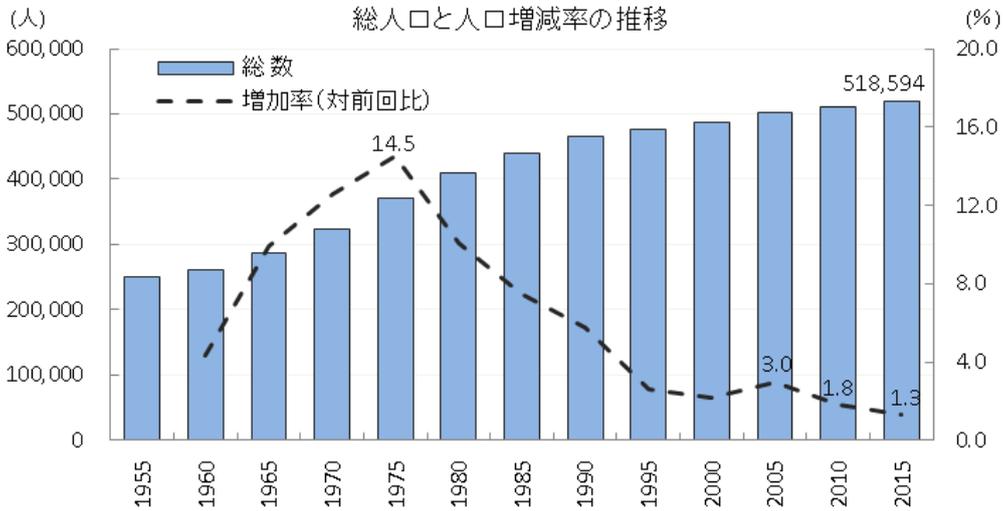
※資料5を基に文章で記載

## (2) 宇都宮市の現状

### ア 人口の状況と見通し等

宇都宮市の総人口は、過去50年間増加し続けていますが、人口増加率は、1975年の14.5%をピークに減少し始め、1995年以降はほぼ横ばいで推移し、直近の2010-2015年の増加率は1.3ポイントと最も低い増加率となっています。

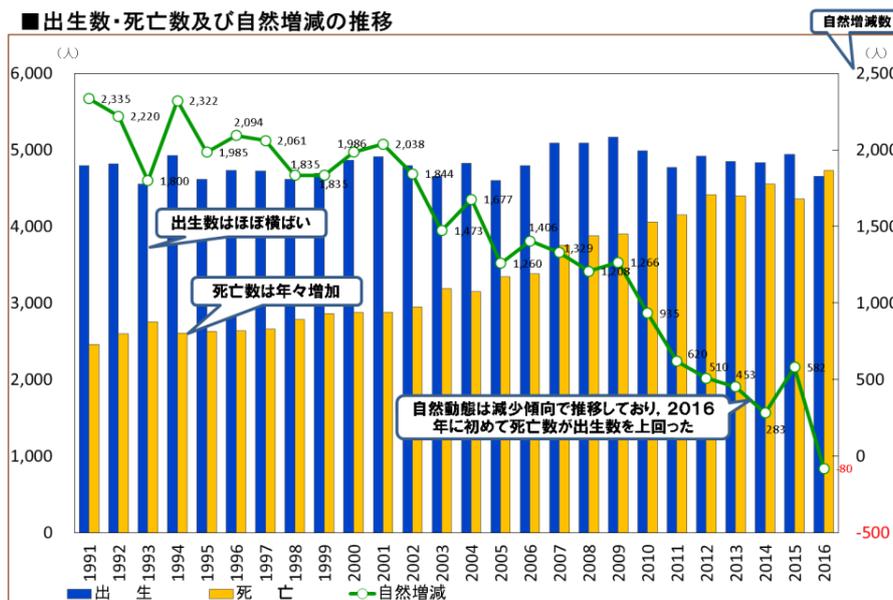
※データ等を示しながら本市の現状を記載



### ●人口の自然動態の状況

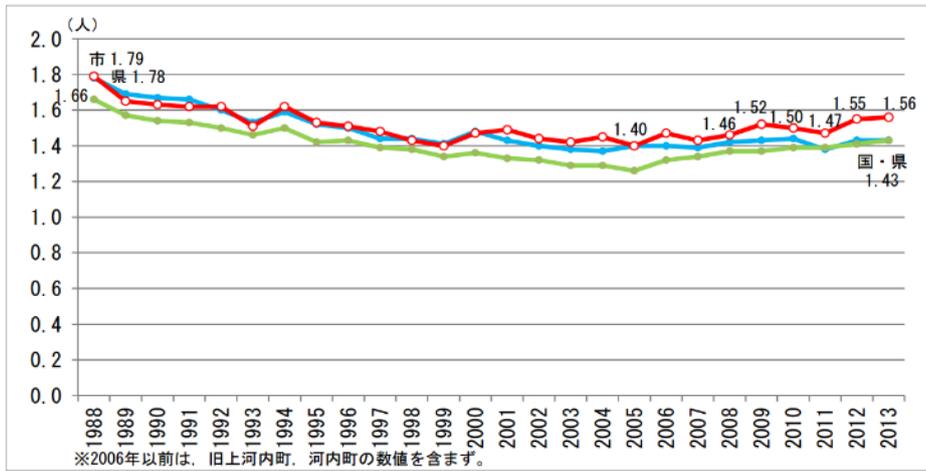
人口の自然動態は、出生数はほぼ横ばいで推移してきているのに対して、死亡数は年々増加傾向にあり、2016年に初めて死亡数が出生数を上回りました。

### ■出生数・死亡数及び自然増減の推移



合計特殊出生率は長期にわたり低下傾向にありましたが、2000年～2005年頃にかけて底打ちし、近年は上昇傾向にあります。また、本市は全国、県よりも高い水準で推移しています。

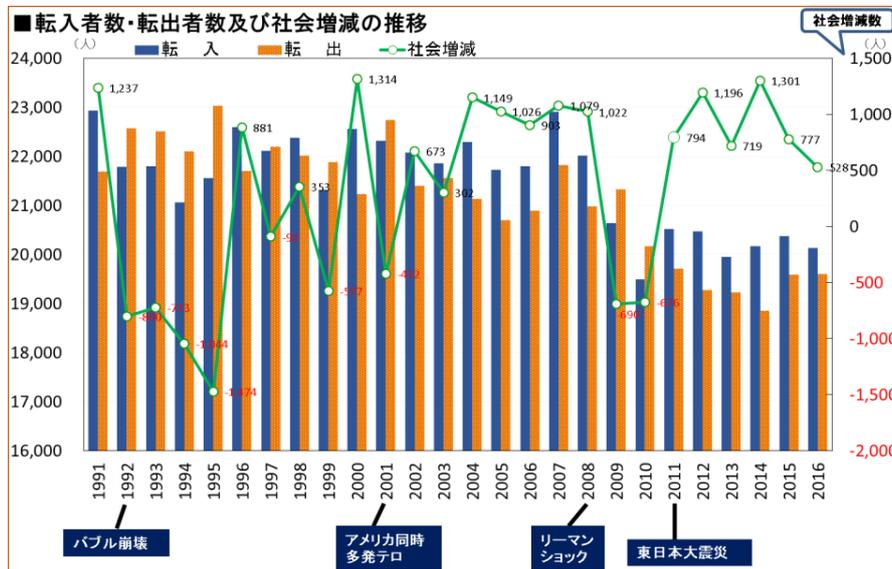
■宇都宮市の合計特殊出生率の推移



※データ等を示しながら本市の現状を記載

●人口の社会動態の状況

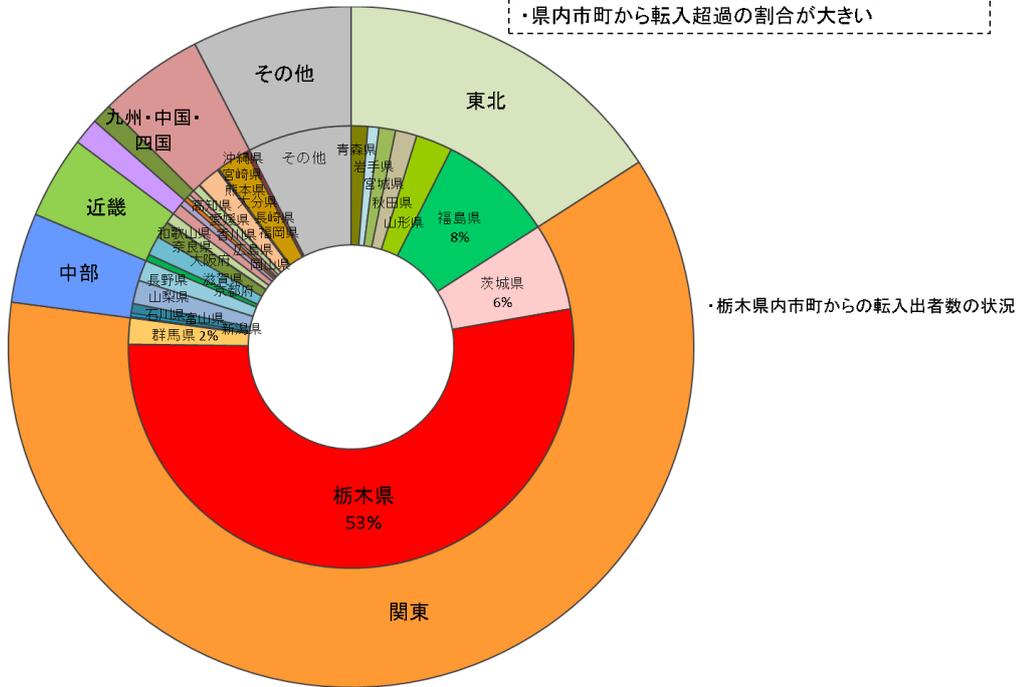
人口の社会動態は自然災害や社会情勢の変化に影響を受けやすく、乱高下しながら推移してきていますが、2011年からは転入超過が続いています。



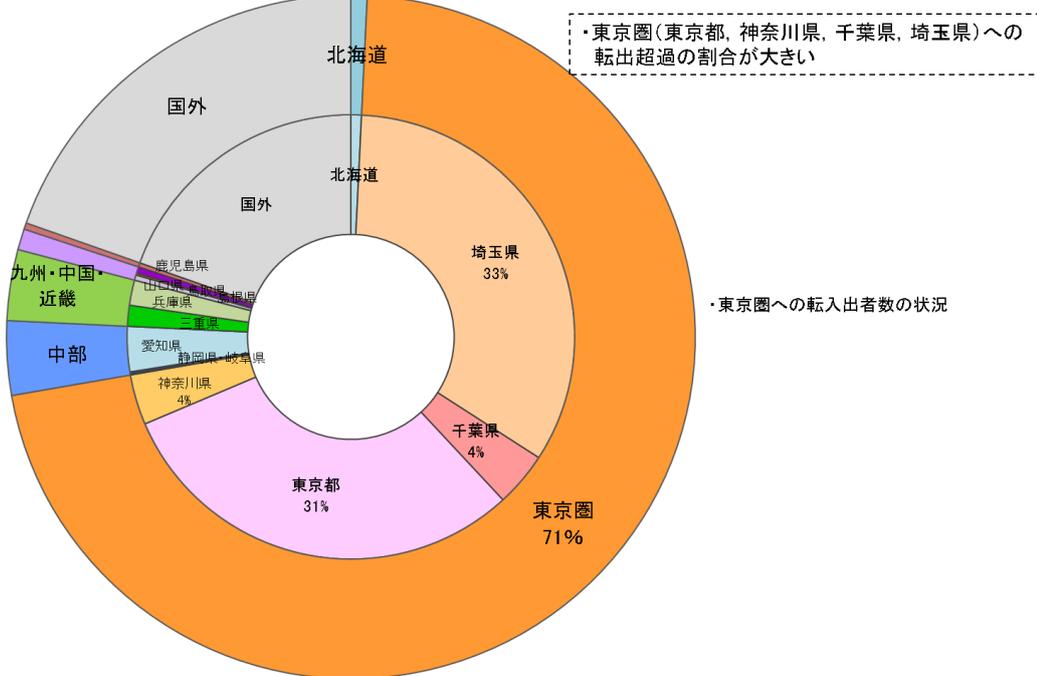
● 転入・転出の状況

…宇都宮市への定住等を促進していく必要がある

■ 宇都宮市への転入超過の内訳



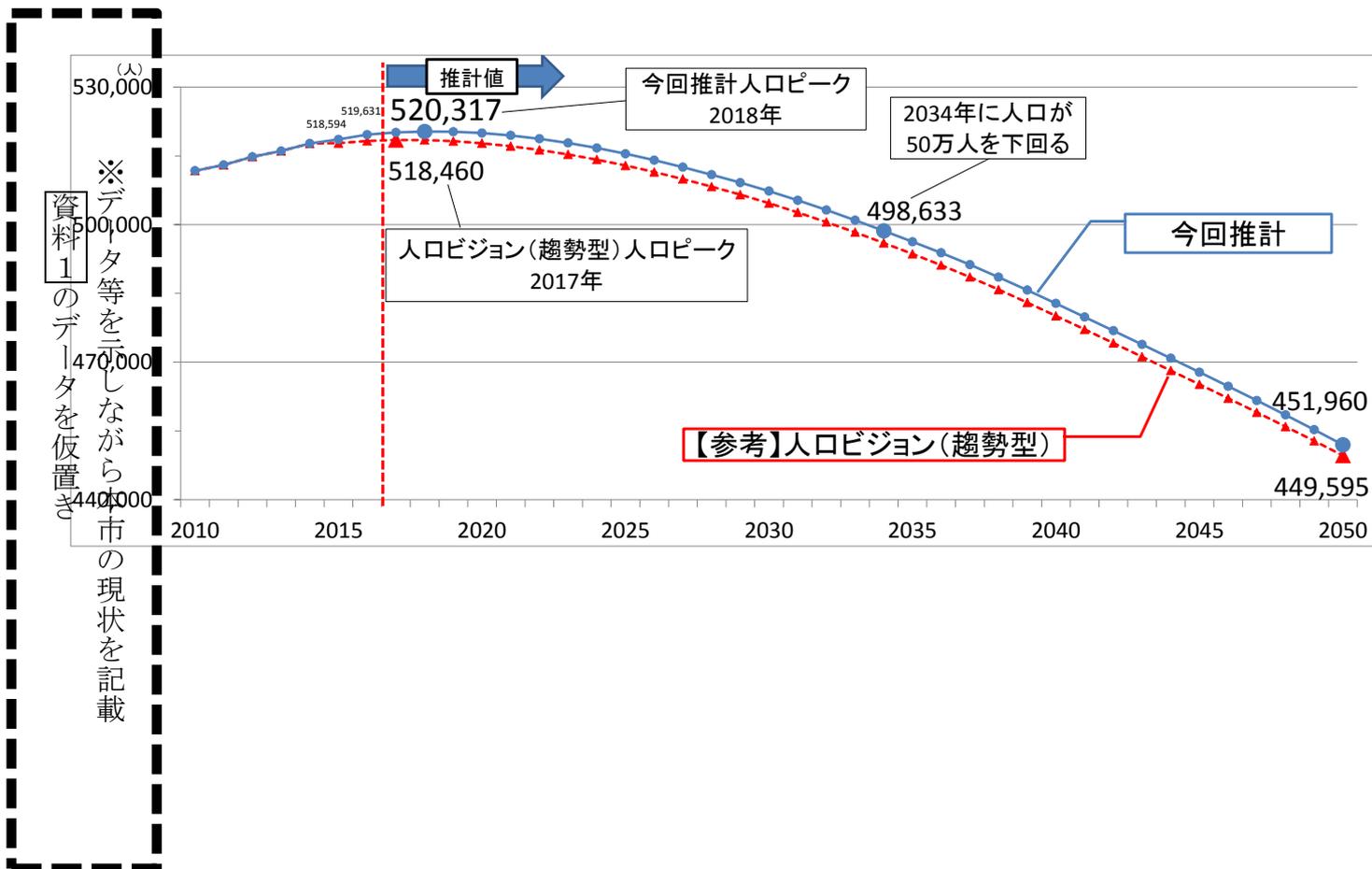
■ 宇都宮市からの転出超過の内訳



※データ等を示しながら本市の現状を記載

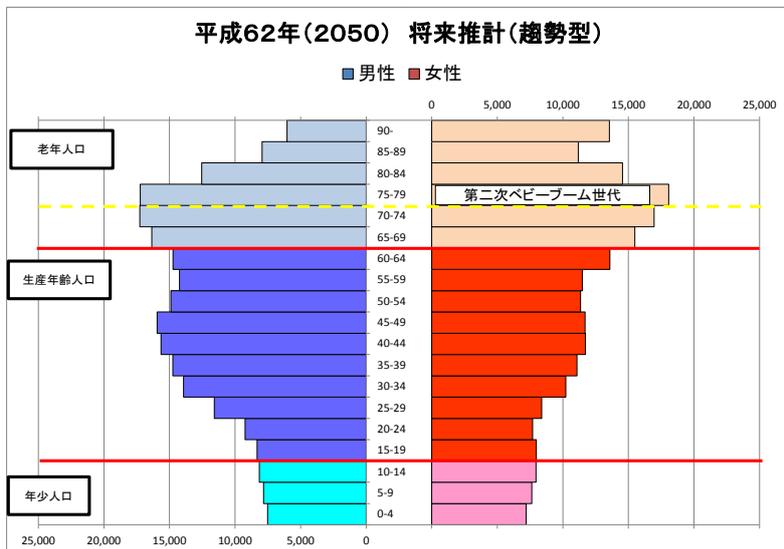
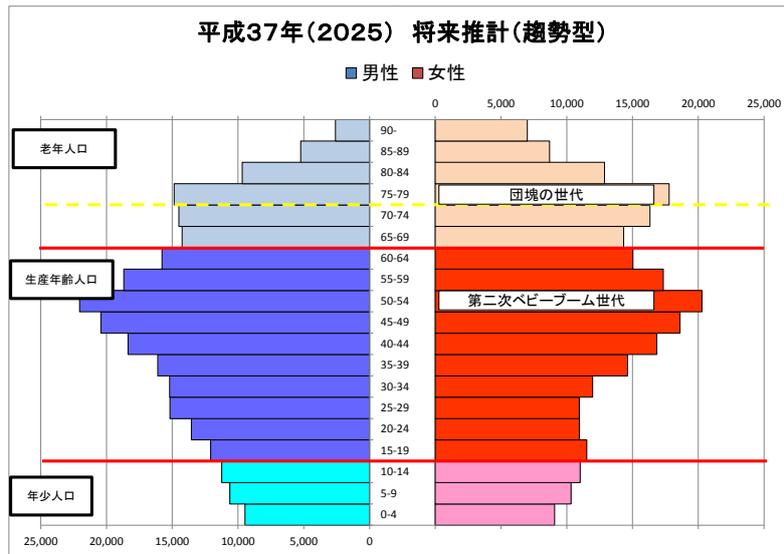
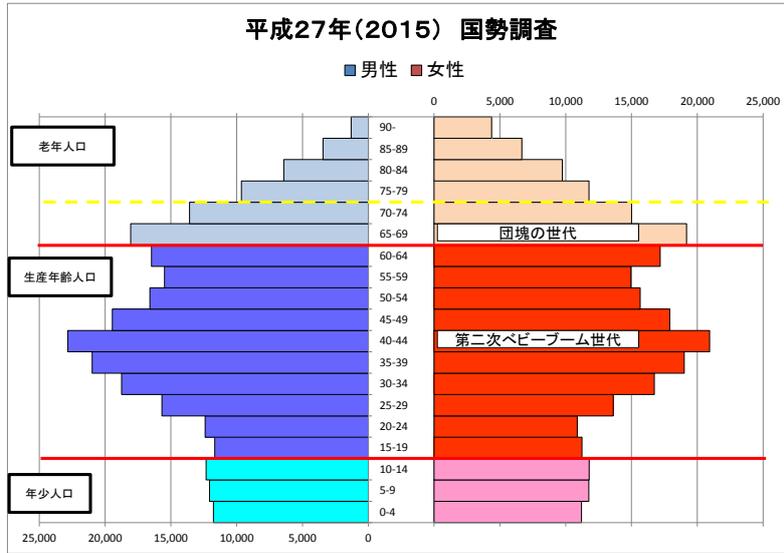
●将来の人口見通し

今後の宇都宮市の人口は、2018年（平成30年）の約52万人をピークに、徐々に人口が減少していき、2050年（平成62年）には約45万人になると見込まれます。



2016年（平成27年）と2050年（平成62年）の人口ピラミッドを見ると、2050年（平成62年）では、老年人口世代が増加するのに対し、年少人口、生産年齢人口は減少していくと推計されます。

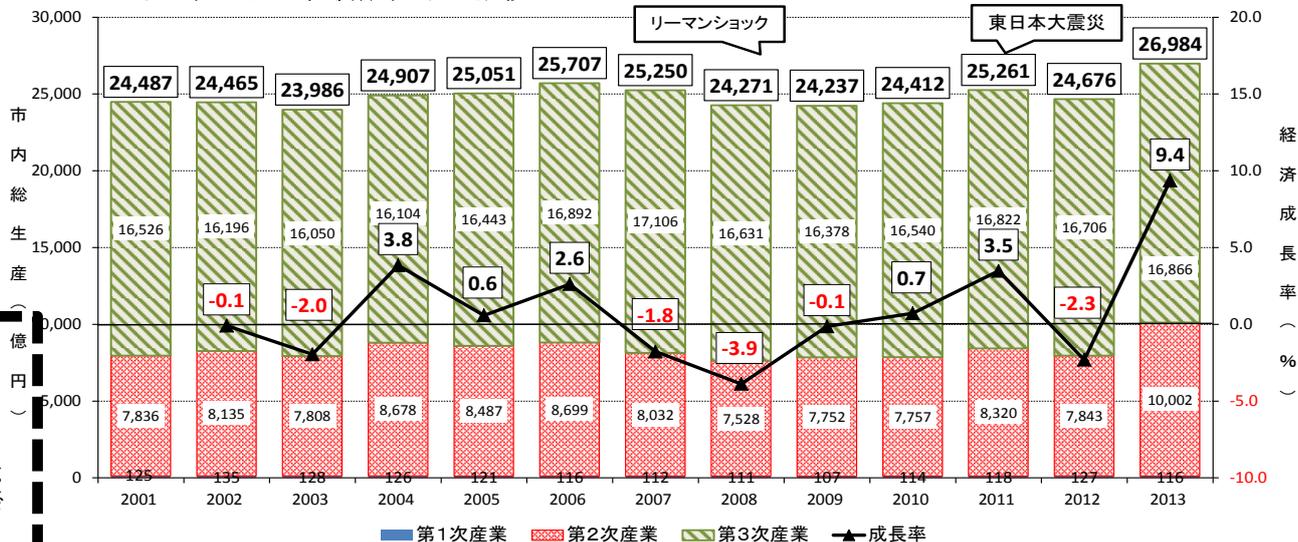
※データ等を示しながら本市の現状を記載  
資料1のデータを仮置き



## イ 経済環境の変化

市内総生産はリーマンショックや東日本大震災などの影響により、増減を繰り返してきていますが、2013年に大きく増加しました。2013年の第2次産業と第3次産業の割合は、およそ4：6となっています。

■市内総生産と経済成長率の推移



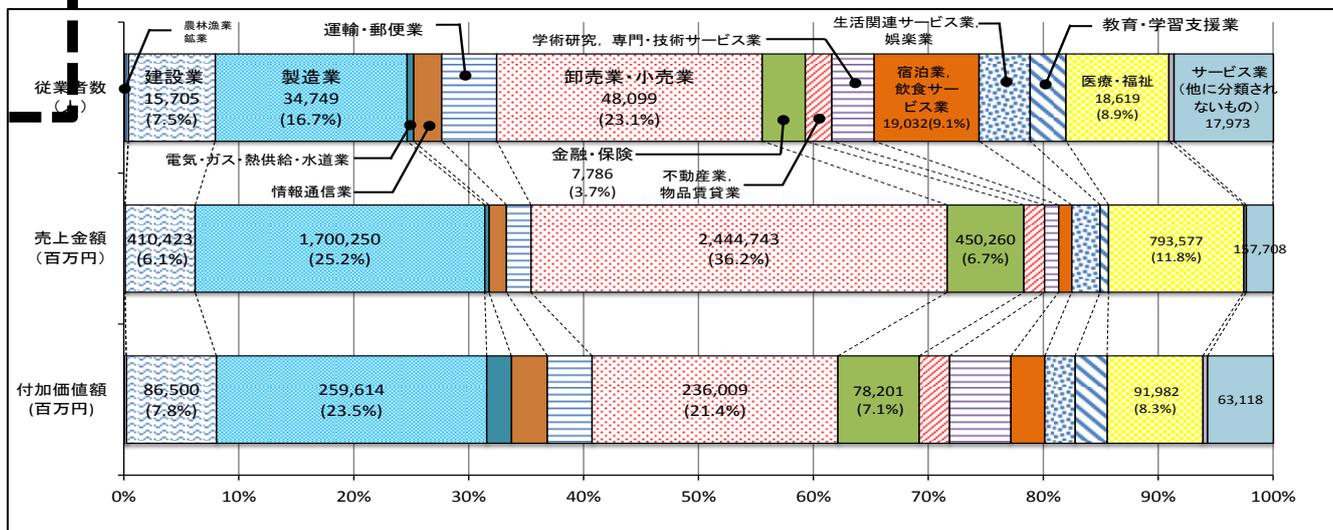
※データ等を示しながら本市の現状を記載

宇都宮市の産業別構成比を見ると、従業者数で構成比率が高い産業は、卸売業・小売業（23.1%）、続いて製造業（16.7%）、宿泊業・飲食サービス業（9.1%）となっています。

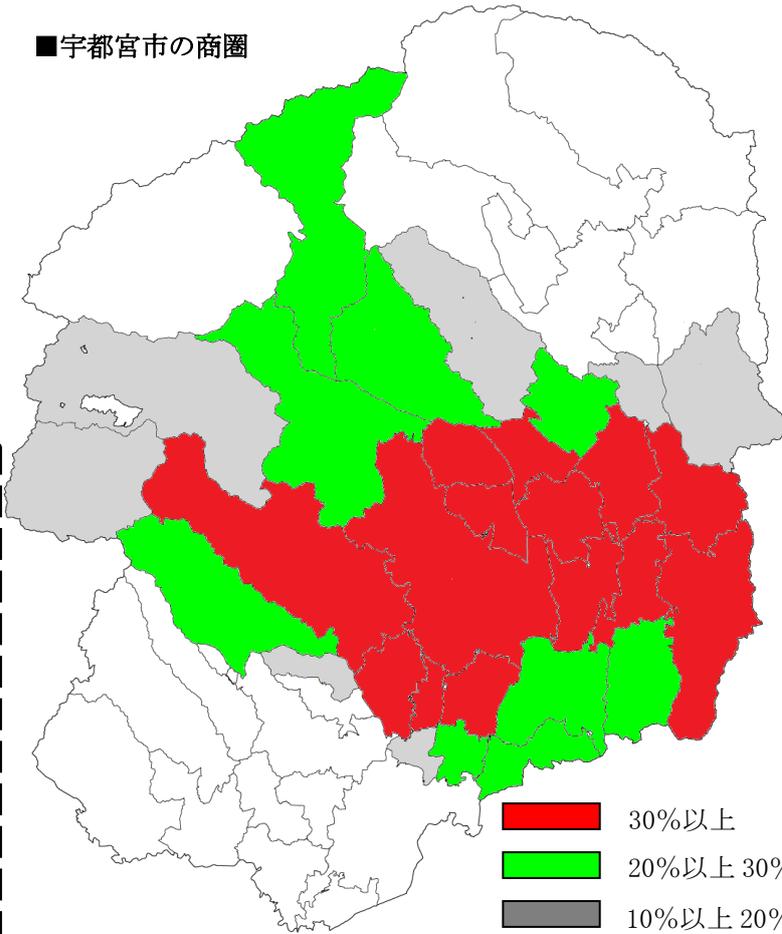
売上金額では、卸売業・小売業、製造業の比率が高く、続いて医療・福祉（11.8%）となっています。

付加価値額で構成比率が高い産業は、製造業（23.5%）、卸売業・小売業（21.4%）、医療・福祉（8.3%）の順になっており、製造業は、卸売業・小売業と比較して少ない従業員数でより多くの付加価値額を生み出していると言えます。

■宇都宮市の産業別構成比



■宇都宮市の商圈



吸収率10%以上の市町村

第1次商圈 (30%以上)

宇都宮市  
上三川町  
芳賀町  
市貝町  
高根沢町  
下野市 (旧石橋町地域)

第2次商圈 (20%以上30%未満)

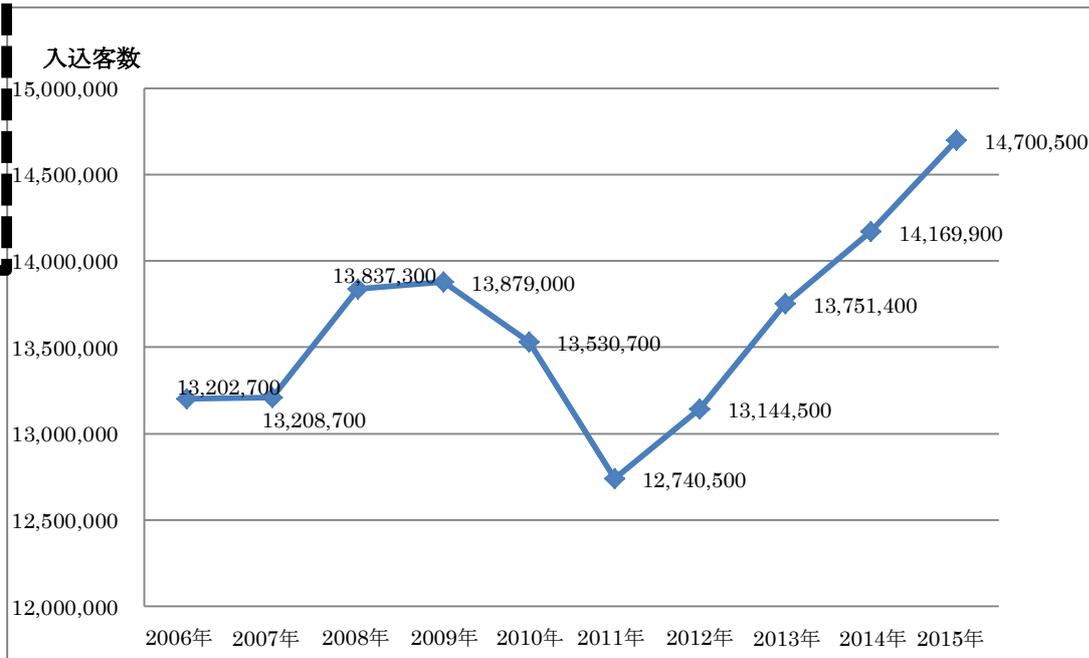
塩谷町  
真岡市  
益子町  
下野市 (旧南河内町地域)

第3次商圈 (10%以上20%未満)

那珂川町  
下野市 (旧国分寺町地域)  
栃木市 (旧西方町地域)  
日光市 (旧日光市・足尾町地域)  
矢板市

※データ等を示しながら本市の現状を記載

■宇都宮市の観光客入込客数の推移



## 2 まちづくりの重点課題の導出

### (1) 課題導出の視点

今後のまちづくりにおける最も重要な課題として、この計画期間中に本市においても本格的に直面することになる人口減少と人口構造の変化への対応をとらえ、時代潮流や本市の現状を、人口の自然減・社会減や少子化、超高齢化、生産年齢人口の減少などの視点から6つの切り口で整理しました。

- 人口の自然減や少子化への対応
- 超高齢社会への対応
- 人口構造の変化に対応した安心できる地域づくり
- 人口の社会増に向けた交流社会の創出
- 生産年齢人口減少下での都市の活力維持
- 人口構造の変化に対応できる都市基盤づくり

※資料5を基に文章で記載

## (2) まちづくりの重点課題

時代潮流の変化や宇都宮市の現状の分析により、これからの本市のまちづくりを進めるに当たっての重点課題を次のように設定します。

- **次代を築く人づくり** ←人口の自然減や少子化への対応  
確かな学力や豊かな人間性などを育む学校教育や、生涯にわたる学習活動の促進により本市を支える様々な分野の人材を育成・確保していくとともに、市民が結婚し家庭を築き、子どもを生み育てたいという希望を叶えられ、子どもが健やかに成長することができる社会の実現が求められています。
- **健康づくりと福祉の充実** ←超高齢社会への対応  
市民一人一人が健康づくりに取り組み健康寿命の延伸を図るとともに、高齢者や障がい者など市民の誰もが住み慣れた地域で暮らせる環境の整備を進めていくことが求められています。
- **安全・安心な地域づくり** ←人口構造の変化に対応した安心できる地域づくり  
身近な地域でのつながりの維持・活性化と官民の連携促進により、日常生活全般の安心・安全の取組や危機への備え、災害発生時に迅速に対応できる環境の整備を進めていくことが求められています。
- **都市の個性づくりのさらなる強化と魅力の発信** ←人口の社会増に向けた交流社会の創出  
都市の魅力をさらに高め、内外の交流拡大と移住者の増加を図ることで、まちの活気と賑わい、市民の誇りと本市に対する愛着が高まり、まちの魅力がさらに向上する好循環を目指すことが求められています。
- **地域経済を支える産業の活性化** ←生産年齢人口減少下での都市の活力維持  
本市経済の活性化を図り、あらゆる産業の振興による市民の所得向上や安定した雇用の確保などが求められています。
- **環境調和型社会の構築** ←生産年齢人口減少下での都市の活力維持  
さらなる省エネルギー、低炭素社会の実現に向けて、環境と利便性のバランスを図っていくことが求められています。
- **骨格の強い都市の形成** ←人口構造の変化に対応できる都市基盤づくり  
長期的な視点に立ち、超高齢社会が進行する中であっても、市民の誰もが暮らしやすい利便性の高い拠点の形成と、自動車に依存せずに暮らせる公共交通ネットワークの構築が求められています。

※資料5を基本に記載

## 第4章 まちづくりの目標

### 1 基本的な考え方

目標年次である2050年に本市が目指す「まちの状態」を明確にするため、「宇都宮市の現状と時代潮流の変化から導き出される課題」で導き出された課題に対応した「2050年のまちの状態」と、それらを実現していくための「まちづくりの基本目標」、それらが解決された状態として「将来のうつのみや像（都市像）」を示します。

### 2 まちづくりの基本目標

「まちづくりの重点課題」を解決し、「2050年のまちの状態」を実現するための基本目標として、6つの「未来都市」の実現を掲げます。

#### ① 結婚・出産、子育ての切れ目のない支援と次世代の「人づくり」が充実した「子育て・教育の未来都市」

- ・市民の結婚や妊娠・出産、子育てに対する希望が叶えられ、すべての子どもが愛され健やかに成長できる社会が実現しています。
- ・子どもから大人までの誰もが夢や希望を持ち、その実現に必要な様々な教育を享受できる社会が構築されるとともに、そうした教育の充実により、あらゆる分野において必要な人材が継続的に輩出されています。

#### ② 健康づくりと医療・福祉の連携により、誰もが生きがいを持って自立した生活を送れる「健康・福祉の未来都市」

- ・市民一人ひとりとはもとより、地域や事業者などにおいても、健康に対する高い意識が醸成され、社会全体で健康づくりに取り組まれており、誰もが元気で心身ともに豊かで充実した生活を送っています。
- ・保健・医療・介護・福祉などのセーフティネットが安定して確保され、高齢者や障がい者をはじめとする全ての市民が幸せに暮らせる環境が整っています。

#### ③ 地域のつながりや支え合いにより、誰もが日常生活の不安なく、安全・安心に暮らせる「安全・安心の未来都市」

- ・地域の住民が互いの信頼のもと、地域の課題を主体的に解決できるコミュニティと支え合うネットワークが構築されており、市民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしています。
- ・様々な災害に対応できる強靱なインフラとあらゆる危機に迅速かつ着実に対応できる体制が整えられるなど、安全な社会が構築されています。

#### ④ 地域資源の魅力創出と発信により、人や情報が行き交い活力が生まれる「魅力創造・交流の未来都市」

- ・先人から受け継いだ歴史や文化を大切にしながら、「大谷石」をはじめとする本市の様々な地域資源が国内外において認知されるなど、宇都宮ブランドが確固たる地位を築いており、人々の盛んな交流により、市民の郷土への誇りや愛着がさらに高まっています。

※資料6を基本に記載

⑤ 本市の確固たる経済力の維持・発展と環境都市の実現が両立する

「産業・環境の未来都市」

- ・あらゆる時代潮流の変化に柔軟に対応できる産業都市が構築されるとともに、市内の各種産業が強みを活かしながら新たな価値を創造し続けています。
- ・市民の誰もが地球環境の保全を意識して行動し、本市の豊かな自然環境が維持されるとともに、低炭素型・循環型の地域社会が構築されています。

⑥ 魅力ある拠点の創造と骨格の強い交通ネットワークが構築された

「交通の未来都市」

- ・本市の顔となる中心市街地においては、高次の商業、業務、文化などの都市機能が集積されているとともに、各地域においても、地域の特性を活かした拠点が形成され、市民の快適な暮らしを支える医療、福祉、商業などの日常生活に必要な機能が充足しています。
- ・市民や来訪者が行きたいところへ自由かつ快適に移動できるなど、日本を代表する総合的な交通ネットワークが完備されています。

※資料6を基本に記載

3 2050年のまちの状態

まちづくりの重点課題が解決された2050年のまちの状態を、第5次総合計画から引き続いて「市民」「まち」「まちづくりの基礎」という3つの視点から整理します。

① 輝く希望と笑顔にあふれたみんなが幸せに暮らせるまち

・ **まちづくりの重点課題が解決された状態を記載** ・

② 独自の存在感と風格を備えたみんなに選ばれるまち

・ **まちづくりの重点課題が解決された状態を記載** ・

③ まちづくりの仕組みが整い、みんなでまちをつくる活力にあふれた持続的に発展できるまち

・ **まちづくりの重点課題が解決された状態を記載** ・

4 将来のうつのみや像（都市像）

2050年の目指すべきまちの状態に到達したときの宇都宮市の姿を示し、本市に関わる全ての人が力を合わせてこの実現を目指します。

< 仮 >

**みんながつながり 輝き続ける うつのみや**

## 第5章 まちづくりの基本方向

「将来のうつのみや像（都市像）」に到達するため、「まちづくりの基本目標」で掲げた6つの未来都市の実現を施策の基本方向として定め、施策の総合的、計画的な推進を図ることで、まちづくりの好循環を創出していきます。

- 1 結婚・出産、子育ての切れ目のない支援と次世代の「人づくり」が充実した「子育て・教育の未来都市」

・ **子育て・教育・学習 分野など** ・

- 2 健康づくりと医療・福祉の連携により、誰もが生きがいを持って自立した生活を送れる「健康・福祉の未来都市」

・ **保健・福祉・健康 分野など** ・

- 3 地域のつながりや支え合いにより、誰もが日常生活の不安なく、安全・安心に暮らせる「安全・安心の未来都市」

・ **安全・安心・市民協働・行政経営 分野など** ・

- 4 地域資源の魅力創出と発信により、人や情報が行き交い活力が生まれる「魅力創造・交流の未来都市」

・ **観光・交流・文化・都市魅力創造・情報 分野など** ・

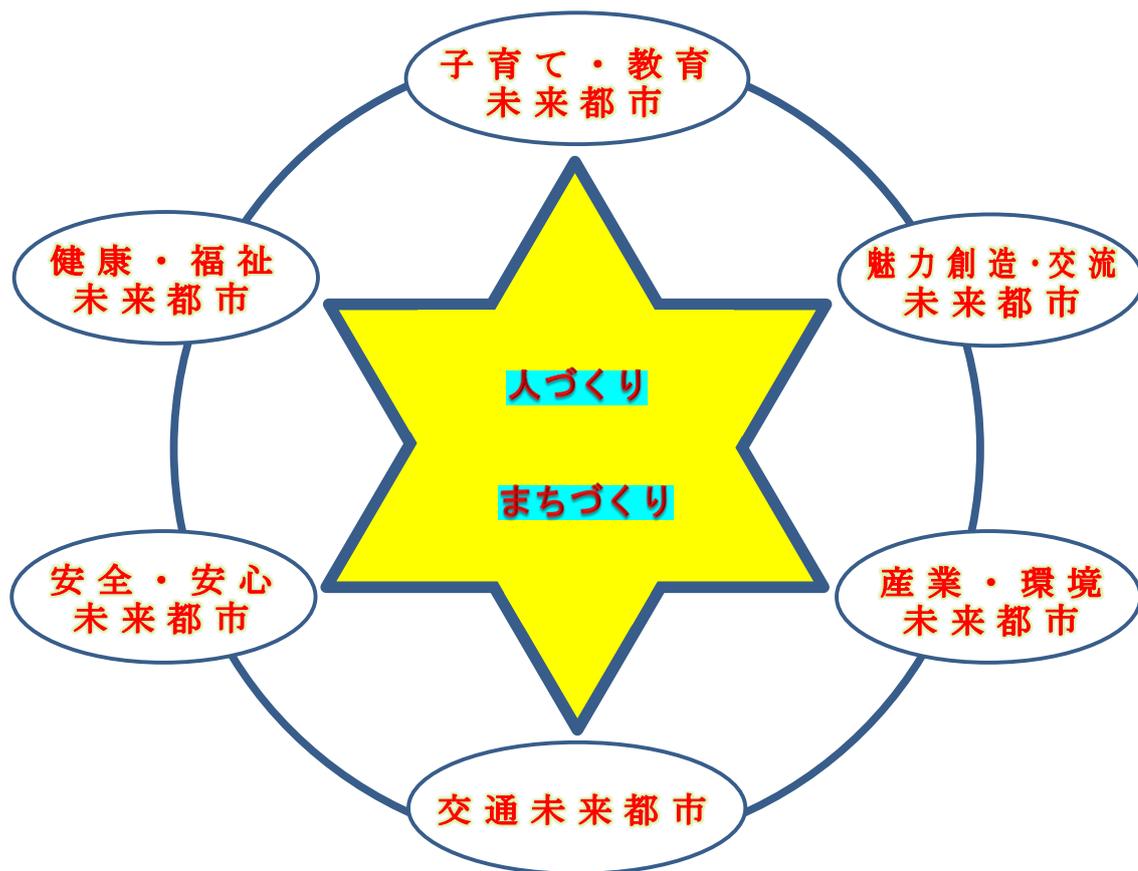
- 5 本市の確固たる経済力の維持・発展と環境都市の実現が両立する「産業・環境の未来都市」

・ **農業・商業・工業・環境 分野など** ・

- 6 魅力ある拠点の創造と骨格の強い交通ネットワークが構築された「交通の未来都市」

・ **交通・都市基盤 分野など** ・

「まちづくりの基本方向」の概念



※資料7を基本に記載

・「まちづくりの基本方向」の概念図は、6つの未来都市（政策分野）が相互に関連し、連携・補完し合うことでまちづくりの好循環を生み出す、全体イメージを表しており、基本構想の目標年次である2050年においても、全国の都市の中で本市が輝く「星」の姿と、本市の「市章」の2つをイメージしています。

6つの未来都市の実現によるまちづくりの好循環の例

6つの未来都市	まちづくりの好循環
<p>結婚・出産・子育ての切れ目のない支援と次世代の「人づくり」が充実した「子育て・教育の未来都市」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学校のみならず地域で子どもを育てる環境が充実することで、地域におけるコミュニケーションの機会が増加し、地域単位の見守りの仕組みが形成されるなど、「安全・安心」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★子育て支援の充実と学力の向上により、ひとや企業に選ばれる魅力あるまちとなることができ、「魅力創造・交流」や「産業・環境」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「健康・福祉」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「交通」の未来都市の構築につながる。</li> </ul>

<p>健康づくりと医療・福祉の連携により、誰もが生きがいを持って自立した生活を送れる 「健康・福祉の未来都市」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★市民が元気に健康に暮らせることで、地域の活力が向上し、まちの魅力が創出され、「魅力創造・交流」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★医療・福祉などの必要なセーフティネットが確保されていることで、市民の暮らしの不安を軽減し、「安全・安心」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「子育て・教育」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…「により、産業・環境」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「交通」の未来都市の構築につながる。</li> </ul>
<p>地域のつながりや支え合いにより、誰もが日常生活の不安なく、安全・安心に暮らせる 「安全・安心の未来都市」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★災害に強いインフラを整備することで、安全・安心に暮らせる環境が充実し、人や企業の定着はもとより、呼び込むことにもつながり、「魅力創造・交流」や「産業・環境」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★行政や企業・ボランティア活動自治会やNPO、事業者、行政などによる地域づくりをしていくことで高齢者が長く住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、「健康・福祉」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「子育て・教育」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「交通」の未来都市の構築につながる。</li> </ul>
<p>地域資源の魅力創出と発信により、人や情報が行き交い活力が生まれる 「魅力創造・交流の未来都市」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★子どもから高齢者など、市民が地域の特性を活かした取組により、市民文化や都市文化を創りあげていくことで、地域に愛着を持った市民が増え、「子育て・教育」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★世界的なイベントの開催などにより、世界中から観光客が訪れ、宿泊や消費が増加し、地域経済が活性化するなど、「産業・環境」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「健康・福祉」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「安全・安心」の未来都市の構築につながる。</li> <li>★…により、「交通」の未来都市の構築につながる。</li> </ul>

<p>本市の確固たる経済力の維持・発展と環境都市の実現が両立する 「産業・環境の未来都市」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市内の農産物の流通やブランド化が進むことで、都市としてのブランド力が向上し、「魅力創造・交流」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆市内企業がグローバルに活躍し、地域の産業力が強化されることで地元企業の魅力が高まり、グローバル人材の育成や輩出など、「子育て・教育」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆…により、「健康・福祉」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆…により、「安全・安心」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆…により、「交通」の未来都市の構築につながる。</li> </ul>
<p>魅力ある拠点の創造と骨格の強い交通ネットワークが構築された 「交通の未来都市」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆拠点や公共交通の沿線に日常生活に必要な様々な施設の立地が進み、子育てしやすい環境が整うとともに、公共交通ネットワークの整備により学生の通学利便性が向上するなど、「子育て・教育」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆高齢者の外出機会の増加により、生きがいつくりや健康づくりが進められるとともに、病院や福祉施設が拠点や公共交通の沿線に集積し、誰もが利用しやすい環境が整うなど、「健康・福祉」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆快適な住環境の整備が進み、歩いて暮らせるまちづくりが実現するとともに、鉄道やバス、地域内交通等の公共交通が充実することで、誰もが安心して外出できるようになり、「安全・安心」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆L R Tを軸にスポーツや文化と連携した、新たなツーリズムの創出などにより、「魅力創造・交流」の未来都市の構築につながる。</li> <li>◆L R Tの導入をはじめとした公共交通の利便性向上により、工業団地に立地する企業へのアクセス性が向上するとともに、CO<sub>2</sub>の削減など環境負荷の低減が図られるなど、「産業・環境」の未来都市の構築につながる。</li> </ul>

## 第6章 将来のうつのみや像の実現に向けて

「将来のうつのみや像」や「まちづくりの基本目標」を実現するため、本市を構成する各主体の役割と責務を定め、更なる協働の推進を図ります。

### 1 協働のまちづくり

- ・ 市民は地方自治の主役であるという認識
- ・ 家族の幸せ、地域の幸せ、市民全体の幸せについて、さらには、国家や地球規模の問題についても主体的に考える
- ・ 自助・互助・共助の精神に基づき行動する
- ・ 事業者は、本市の構成員であるという認識
- ・ 良質なサービスや価値の提供、誠実な企業活動、加えて、積極的な社会貢献活動を通して、地域社会との信頼関係や協力関係を深めていく
- ・ まちづくりや行政サービスの実施にあたり、さまざまな方策により民意を踏まえ、これを反映した選択を行う

### 2 行政経営の視点

- ・ きめ細かな行政サービスや、新たな行政課題への対応、そして、魅力と活力あるまちづくりをより積極的に行っていくためには、その下支えとなる自治能力のさらなる向上を図ることが重要
- ・ このため、まちづくりに必要な行財政基盤の強化を図ること、そして、より戦略的な行政経営を目指すため、複雑かつ多様化、高度化する行政課題や市民ニーズに対し、効果的・効率的かつスピード感ある取組を徹底することを通して、市民満足の向上を図る

### 3 広域的な視点によるまちづくり

広域的な視点からのまちづくりの考え方を記載

### 4 各主体の役割

- ・ 市民の務め  
地方自治の主役であるという認識のもと、自助・互助・共助の精神に基づき行動する
- ・ 事業者の務め  
本市の構成主体であるという認識のもと、積極的な社会貢献活動を通して、地域社会との信頼関係や協力関係を深める
- ・ 行政の務め  
市民の負託を受けた公共の担い手として、多様な主体の意志や活動に基づく自治の実践と自治能力のさらなる向上に努め、市政運営に取り組む

※記載内容について検討中  
現時点では第5次総合計画の考え方を基本に記載

※記載内容について検討中  
現時点では第5次総合計画の考え方を記載